

ちょっと待って！ それって振り込め詐欺じゃないですか？

下記のチェック表の項目は、詐欺の予兆や振り込め詐欺です。還付金の手続きなどと称して、市役所や税務署の職員が銀行ATM機を経由して還付手続きの指示をすることは絶対にありません。最近では、自宅や指定場所に会社の上司や部下を装った者が現金を受け取りに来る「手渡し型」も増えています。本人に事実を確認できない限り、絶対にお金を振り込んだり、渡したりしないでください。被害に遭わないために、振り込め詐欺に対して抵抗力をつけましょう。

- 最近、息子や孫から「風邪をひいた、携帯電話の番号が変わった」または「会社の携帯電話を使っている」という連絡があった。
- 息子や孫から電話で、「今日中にお金が必要だ」と言われた。
- 頼まれた振込先の口座名義人は知らない人だった。
- 会社の知り合いが「お金を受け取りに行く」と言われた。
- 警察官や金融機関などの職員を名乗るものから、「キャッシュカードを預かります」と言われた。

- ① 電話の相手を息子などと思
い込む
- ② 自分しか助けられる人はいない
と思いつく
- ③ 詐欺なら見破れると思いつ
く

被害にあった方のほとんどは、オレオレ詐欺を知っていました。しかし、自分のところに犯人からの電話がかかってくるとは考えていなかったため、突然の電話に動揺し、だまされてしまっています。陥りやすい思い込みは次の3点。『思い込み』は厳禁です。

なぜ、だまされるのか



被害者の声

■今まで蓄えたタンス預金をだまし取られました。子どもからも激怒され、こんなことならコッコツと貯めなければ良かったと後悔する日々です。今はチャイムにも怯え、訪ねてくる人を全て怪しんでしまっています。

■声が息子とそっくりで、信じ込んでしまいました。会話の主導権が常に相手にあり、言われるとおりにしてしまいました。自分が被害に遭うとは、思ってもいませんでした。

■私は体調が悪く、ベッドの上で生活を送っています。そんな私を、時々会いに来てくれる孫は元氣付けてくれていました。そんな孫から、会社のお金を弁済しないといけないと言われたと思いつき、孫の窮地を救いたたい一心でお金を渡してしまいました。親族に迷惑をかけないためにと保管していた大事なお金でした。つらくてたまりません。

海老名市から 振り込め詐欺を撲滅しよう！

☎ 海老名警察署 ☎ (232)0110



県内で急増する振り込め詐欺の撲滅に向け、県警は「息子はサギ!？」を標語にポスターを作製し、注意喚起を行っています。

被害額は過去最高に

平成25年に発生した県内の振り込め詐欺被害件数は1340件、被害額は約41億2300万円となり、件数、額ともに過去最高となりました。このうち、海老名市内での発生件数は15件、被害額は約3500万円でした。

息子や孫に成り済ます「オレオレ詐欺」と、公的機関の職員をかたる「還付金詐欺」がその大半を占め、被害者の9割以上は60歳以上の方です。不審な電話がかかってきたら、まずは家族や警察に相談してください。

留守番電話大作戦実施中！

県警では、振り込め詐欺の被害を抑止するため、「留守番電話大作戦」と称し、留守番電話の設定をしておくことで、不審な電話には出ないよう注意を呼び掛けています。

犯人からの電話

↓
在宅中も留守番電話に設定

- 1.留守番電話のメッセージが無言
- 2.ナンバーディスプレイが「番号非通知」または「通知不可能」を表示
- 3.知らない番号からの電話

↓
振り込め詐欺の可能性大

※ナンバーディスプレイが付いた電話機をお持ちの方は、親族の携帯電話番号などを事前に登録しておくことより効果的です。

海老名警察署では、こうした被害に遭わないよう、海老名高校の防犯ボランティアによる寸劇や、地元ボランティアとのキャンペーンなどでの注意喚起のほか、自治会や地域の会合などで警察官による防犯講話を実施するなど、詐欺撲滅のための啓発を行っています。

市内金融機関に対しては、詐欺対策として、高齢の方が多額の引き落としを行う際には、警察への

通報と具体的理由の確認を行うよう依頼しています。金融機関の皆さんの尽力により、未然に詐欺を防いだ事案も25年中に市内で18件ありました。

なお、市の「えびなメール」や「防災行政無線」などでお知らせをする日は、市内に犯人から電話がかかってきていますので、特に注意が必要です。